

保健だより 心肺蘇生法講習会 特別号

H 2 5 . 7 . 2 4 射水市立小杉中学校

7月3日(水)に、射水市医師会と射水市ロータリークラブの主催により、射水消防署、射水市医師会の医師や看護師を講師に招き、2年生を対象とした心肺蘇生法講習会が開かれました。実習後の生徒の感想を一部紹介します。

AEDは機械を見たことはあっても使ったところを見たことがなかったので今回の講習で使い方を知ることができました。心臓マッサージをして助かった人も大勢いると聞きました。私は自分ができる精一杯のことが一人の命の助けになるのはとてもよいことだと思います。心肺蘇生法に限らず、自分のできることを精一杯して、少しでも他の人の助けや支えになれたらうれしいです。

(1組 女子)



思っていたよりも心臓マッサージは大変でした。大変な仕事なんだなと実感しました。今日の講習のことを大人になっても忘れないようにしたいです。

(1組 女子)

実際に胸骨圧迫や人工呼吸などをするときがきたら、しっかりできるか自信がありません。命を助けようとするのには勇気がいるし、大変で難しいんだなと思いました。(2組 女子)



心臓マッサージにとっても力があることに驚きました。家の祖父がお風呂で心筋こうそくを起こしたときに、兄が心臓マッサージの方法などを119番をして聞いてやったそうです。人の命を救うのは人しかいないのだとわかりました。(2組 女子)

いつ誰が倒れるかわからないので今日の講習はこれから万が一のときにとっても役立つと思いました。また、教頭先生のお話で母さんが倒れたときに心肺蘇生法ができた人がいたということがとても驚きました。私もとっさに動ける人になりたいです。

(3組 女子)

実際に目の前で倒れている人がいたら、たぶん、あせってしまって何もできないかもしれないけど、少しでも協力できたらいいなと思います。例えば、AEDの場所を知っておいて取りに行けるようにしたいです。

(3組 女子)



一番難しいと感じたことは肺に息を吹き込むことです。なかなかうまく肺に空気が入らないのでどうやったらできるのかなと思っていたら、指導者の方が口をもっと大きく開けるんだよと言われました。今まで人が倒れているのを目にしたことがないので少し怖かったけど勉強になりました。(4組 女子)

社会に生きる人として、必ず身につけておかなければならない重要な技術を教えてもらえてよかったです。救急車が来るにも時間がかかり、その間の心肺蘇生法が大事になると学びました。しっかり状態を確認して、適切な行動をすることが大切だと思いました。(4組 男子)

僕の家族が急に倒れるかもしれないからこの心肺蘇生法を学習してためになったと思いました。心臓マッサージをするときにななめに胸骨を圧迫しないことや、しっかり肘を伸ばして心臓マッサージをすることなど、気をつけないといけないことがあることを初めて知りました。

(5組 男子)

実際にやってみると思ったよりとても難しく、少し手こずりましたが、協力してできたのでよかったです。しっかりと気をつけて生活していきたいと思います。(5組 男子)

今日初めて心肺蘇生法を習いました。どんなことをするのか楽しみにしていました。簡単そうでけっこう難しかったです。AEDも音声すべてサポートしてくれてこれなら簡単に誰でも使えるなど思いました。

(6組 男子)

救急車が来るまでに私たち一般人でもたくさんの方ができていることに驚きました。あごをあげて人工呼吸することは前から知っていたけどあんなにあげなければ息が通らないんだと気付きました。

(6組 女子)



最初は恥ずかしい気持ちでやっていましたが、「今やっておかなければ、本番ではなにもできない。」とお医者さんが話してくださいました。それを聞いて僕はこの機会を利用して一生懸命学ぼうという気持ちになることができました。(7組 男)

AEDの使い方や救急車の呼び方、119番に電話したときに伝えるとよいことなどたくさんの方を教えていただきました。倒れた人を助けることも大切だけど、自分のこともしっかり考えて、と言われました。周りをよく見て動けるようにしたいです。

(7組 女子)